

公開シンポジウム

学士課程で身につけるべき 心理学的素養に向けて

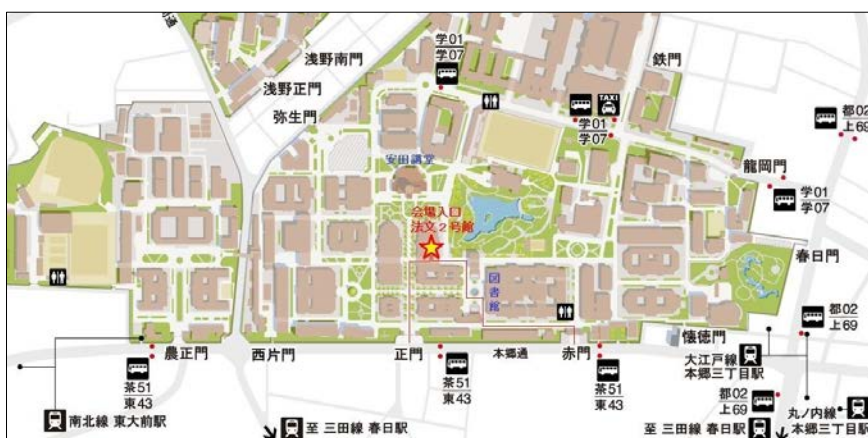
日本学術会議の「心理学分野の参照基準検討分科会」による「大学教育の分野別質保証のための教育課程編成上の参照基準（心理学分野）」の報告書案が作成され、広く一般の方々も含め心理学教育に携わる方々の意見聴取を目的として、公開シンポジウムを開催することになりました。

なお、この報告書案は、シンポジウムでの意見聴取後に再修正した後に、日本学術会議心理学・教育学委員会の査読を受け、さらに修正の後に学術会議の「大学教育の質保証検討分科会」の承認後に正式に学術会議として公開することになります。

日時 平成 26 年 5 月 25 日 (日)
13:30~16:00

場所 東京大学文学部
(本郷キャンパス)
法文 2 号館 2 階 2 番大教室
【定員 156 名】

- 東京メトロ丸の内線
・都営大江戸線 本郷三丁目駅
徒歩 12 分
- 東京メトロ南北線 東大前駅
徒歩 12 分



法文 2 号館の、正門から見て後方寄りにあるアーケード内、「文学部」と書かれた木製の看板がある扉から建物にお入りください。

次第

13:30~13:40 I 経緯と趣旨説明 利島 保 (日本学術会議連携会員, 広島大学名誉教授)

13:40~15:30 II テーマ別報告 (各報告の題は仮題)

- 1 「心理学とはどのような学問か」 佐藤隆夫 (日本学術会議連携会員, 東京大学教授)
- 2 「心理学固有の特性とは何か」 長田久雄 (日本学術会議連携会員, 桜美林大学教授)
- 3 「心理学を学ぶ全ての学生が身につけることを目指すべき基本的素養とは」
長谷川寿一 (日本学術会議第一部会員, 東京大学理事・副学長)
- 4 「心理学分野の学びを通して獲得すべき基本的な能力とは」
箱田裕司 (日本学術会議第一部会員, 京都女子大学教授)
- 5 「市民性の涵養をめぐる心理学的教養と心理学の専門教育」
安藤清志 (日本学術会議連携会員, 東洋大学教授)

15:30~16:00 III 質疑・討論

■参加申込

日本心理学会事務局まで、E-mail (jpa-event@psych.or.jp), Fax, 往復はがきで、シンポジウム名を明記の上、所属機関・職業・住所・氏名・年齢と、日本心理学会会員の方は会員番号、認定心理士の方は認定番号をお知らせください (E-mail での申込時は、件名に希望日・シンポジウム名をご記入ください)。

※事前申込制です。定員に達した場合、お申込みいただいていない方は、当日ご入場いただけないことがあります。

■報告書案について、ご意見を受付しています。

ご意見がございましたら、5月19日(月)午前9時30分までに、日本心理学会事務局まで E-mail (jpa@psych.or.jp)にてお送りください。学会事務局で取りまとめ、「心理学分野の参照基準検討分科会」にお渡しします。

報告書案は、日本心理学会ホームページ内、本シンポジウムの案内ページよりダウンロードしてください。

http://www.psych.or.jp/event/others_140525.html